

第 227 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

期 日 2009 年 12 月 3 日 (木) 13:00~17:50

会 場 株式会社日立ハイテクノロジーズ[東京都港区西新橋 1-24-14, 電話
03-3504-7111 交通: 東京メトロ 銀座線『虎ノ門駅』より徒歩 5 分, 東京メトロ 千
代田線『霞ヶ関駅』・三田線『内幸町駅』より徒歩 7 分, JR 新橋駅より徒歩 10 分]
(http://www.hitachi-hitec.com/em/office_j/map_hdq.html)

開催趣旨 高分子分野における LC の利用は、SEC による分子量測定が代表的な例ですが、
検出器や他装置との組み合わせにより組成分析や構造解析にも広く利用されてきていま
す。また、測定対象物の広い LC は含まれるオリゴマーや添加剤の分析等についても不可
欠の分析法です。本例会では装置開発の先端、実試料への応用例などについてご講演頂き
ます。

講演主題 高分子評価への LC の応用

講 演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05) (東洋製罐グループ総合研究所) 細野寛子

1. トリプル検出器を用いた高分子の構造解析 (13:05~13:35)
(旭テクネイオン(株)) 井寺一生
2. 液体クロマトグラフィーを用いた高分子試料中の添加剤等の分析 (13:35~14:05)
(株)東レリサーチセンター) 小野田 資
3. LC- (熱分解) /GC/MSによる化成品の分析 (14:05~14:35)
(ジーエルサイエンス(株)) 古野正浩
4. 超臨界流体クロマトグラフィーによる高分子の定量分析 (14:35~15:05)
(産業技術総合研究所) 高橋かより
休憩 (15:05~15:20)
5. タンパク質のLC分離とLC/MSの分析の関係 (15:20~15:50)
(アドビオンジャパン(株)) 内藤義治
6. 糖タンパク質糖鎖研究への超高速LCとポストカラム法の利用 (15:50~16:20)
(株)日立ハイテクノロジーズ) 中川裕章
7. 気液 2 相流クロマトグラフィーの開発、その特徴と超高分離性能 (16:20~16:50)
(I R 分析研究所) 谷川征男
8. 金属缶コーティングおよびレトルト包装材から溶出した食品中のBADGEの分析と
モデル食品中への溶出実験 (16:50~17:20)
(東京都健康安全研究センター) 植松洋子
9. 総括「高分子評価と LC」(17:20~17:50) (東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費 LC研究懇談会会員:1,000 円, 協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000
円, その他:4,000 円, 学生:500 円(参加費は当日申し受けます)

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで交流会を開催します(会費 3,000 円)。希望者
は必ず前もってお申し込みください(参加費は当日申し受けます)。

申込方法 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上 FAX または同内容を E メール
よりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお
越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-3490-3351, FAX:03-3490-3572, E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]